

平成26年12月25日  
調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会  
(平成26年度 第1回)

資料-3

# 調査・設計等業務に関する 入札・契約の実施状況 (平成25年度年次報告・概要版)

国土技術政策総合研究所

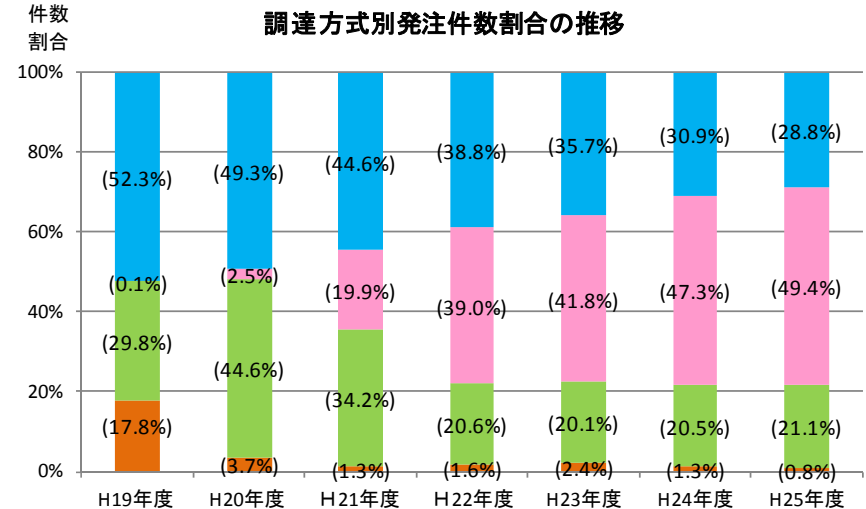
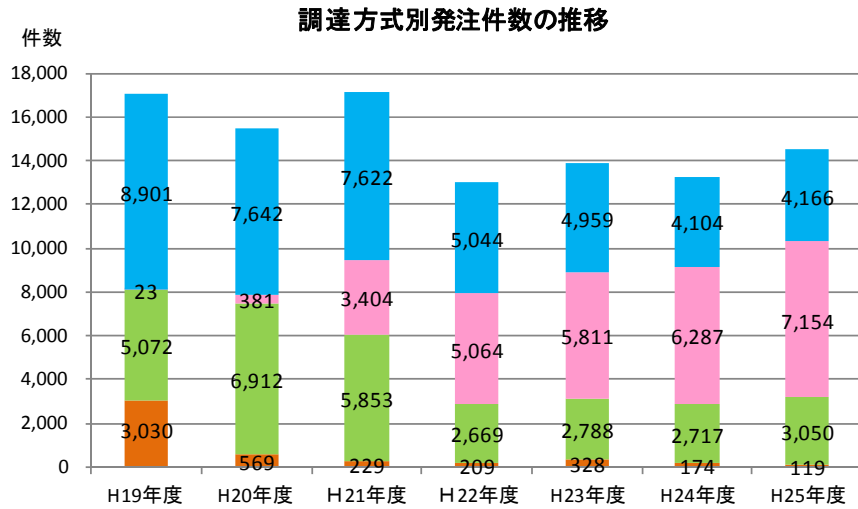
# 目 次

1. 調査・設計等分野の契約状況	
(1) 調達方式別発注件数の推移(全業種計)	P1-1
(2) 調達方式別発注件数の推移(土木／測量／地質)	P1-2
(3) 配点比率別「総合評価落札方式」発注件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)	P1-3
(4) 調達方式別・予定価格帯別発注件数(平成25年度)	P1-4
(5) 四半期別発注件数割合の推移(全業種計)	P1-5
2. 入札の状況(総合評価と価格競争の比較)	
(1) 入札率分布の推移(全業種)	P2-1
(2) 落札率分布の推移(全業種)	P2-2
(3) 低入落札発生状況(総合評価・価格競争別／業務規模別 経年変化)[予定価格1,000万円超]	P2-3
(4) 低入落札発生状況(総合評価・価格競争別／業務規模別 経年変化)[予定価格1,000万円以下]	P2-4
3. 総合評価落札方式の運用実態	
(1) 価格点1位と2位の得点差分布(経年変化)	P3-1
(2) 技術点1位と2位の得点差分布(経年変化)	P3-2
(3) 価格点1位と2位の得点差分布(配点比率別:平成25年度)	P3-3
(4) 技術点1位と2位の得点差分布(配点比率別:平成25年度)	P3-4
(5) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「価格点の得点率差」と「技術点の得点率差」の関係(経年変化)	P3-5
(6) 落札者の状況(順位評価:全体)	P3-6
4. 業務成績の関係(平成25年度)	
(1) 調達方式・配点比率と業務成績評定点の関係(全業種)	P4-1

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (1) 調達方式別発注件数の推移(全業種計)

- ・平成25年度発注件数は、前年度に比べて9.1%増加した。
- ・調達方式別の発注件数割合を見ると、プロポーザル方式が21.1%、総合評価方式が49.4%、価格競争方式が28.8%であり、平成24年度に比べ、プロポーザル・総合評価は微増、価格競争は微減という傾向にある。



凡例： ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争

### 地方整備局等(港湾空港除く)における契約状況(単位:件数)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	増減率 (H25-H24)/H24	増減率 (H25-H19)/H19
価格競争	8,901 (52.3%)	7,642 (49.3%)	7,622 (44.6%)	5,044 (38.8%)	4,959 (35.7%)	4,104 (30.9%)	4,166 (28.8%)	1.5%	-53.2%
総合評価落札方式	23 (0.1%)	381 (2.5%)	3,404 (19.9%)	5,064 (39.0%)	5,811 (41.8%)	6,287 (47.3%)	7,154 (49.4%)	13.8%	31004.3%
プロポーザル方式	5,072 (29.8%)	6,912 (44.6%)	5,853 (34.2%)	2,669 (20.6%)	2,788 (20.1%)	2,717 (20.5%)	3,050 (21.1%)	12.3%	-39.9%
特命随意契約	3,030 (17.8%)	569 (3.7%)	229 (1.3%)	209 (1.6%)	328 (2.4%)	174 (1.3%)	119 (0.8%)	-31.6%	-96.1%
合計	17,026	15,504	17,108	12,986	13,886	13,282	14,489	9.1%	-14.9%

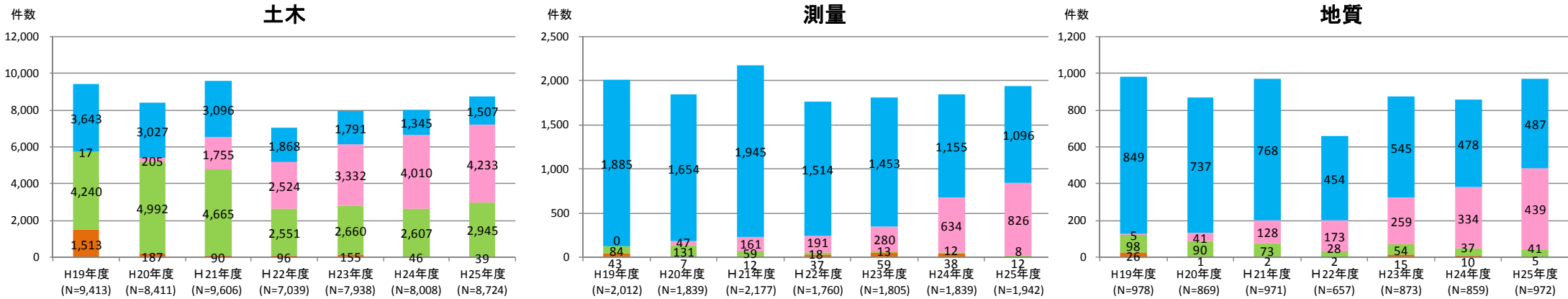
※対象は北海道開発局および8地方整備局発注の業務

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

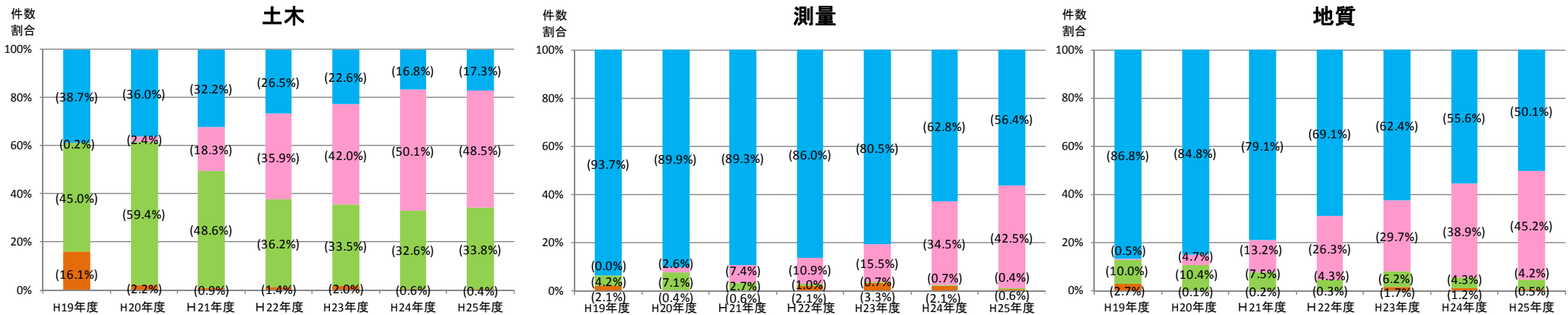
## (2) 調達方式別発注件数の推移(土木／測量／地質)

- ・平成25年度の土木業務の発注件数割合は、プロポーザル方式が33.8%、総合評価落札方式が48.5%、価格競争が17.3%であり、平成24年度と比較して同様の傾向となっている。
- ・測量業務及び地質業務では、年々、総合評価落札方式による発注割合が増加しており、平成25年度は、ともに4割以上が総合評価落札方式となっている。

調達方式別発注件数の推移



調達方式別発注件数割合の推移



凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争

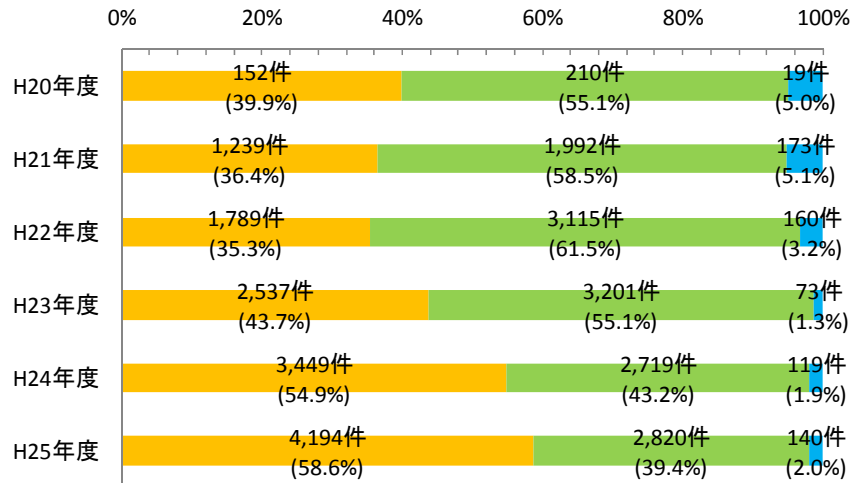
※土木、測量、地質は発注者支援を除く

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (3) 配点比率別「総合評価落札方式」発注件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)

- ・配点比率別の実施件数割合は、平成25年度は、1:1は58.6%、1:2は39.4%、1:3は2.0%となっており、平成24年度に比して、簡易型の1:1は増加し、標準型の1:2は減少した。
- ・業種別では、土木、測量、地質の1:1業務の割合が増加し、1:2の業務の割合が減少している。なお、土木、地質の1:3業務の割合は微増した。

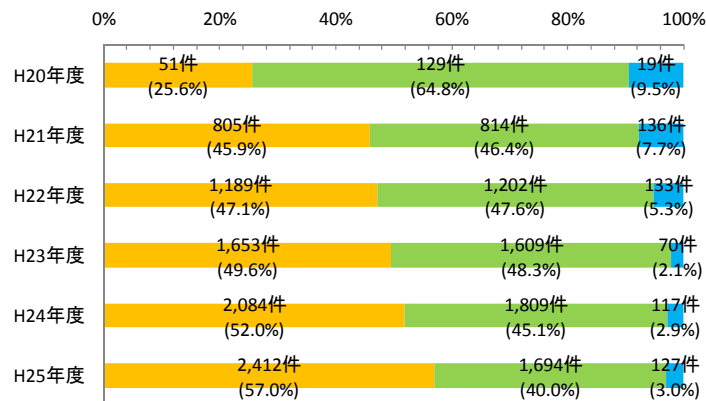
総合評価 配点比率別発注件数の推移



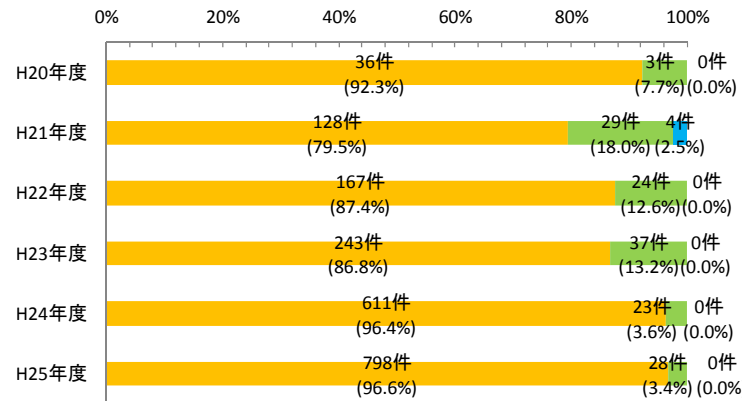
凡例:  
 ■ 1:1  
 ■ 1:2  
 ■ 1:3

	比率	技術提案
標準型	1:3	実施方針+評価テーマ(2つ以上)
	1:2	実施方針+評価テーマ(1つ)
簡易型	1:1 ※ 業務の難易度に応じて1:2も使用可	実施方針のみ

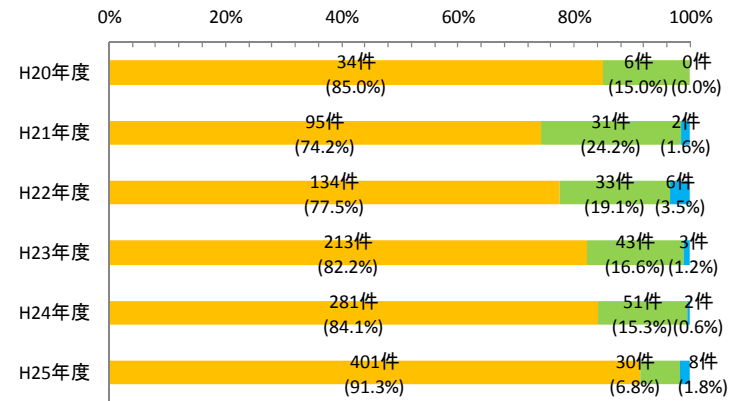
全業種計



土木



測量



地質

※土木、測量、地質は発注者支援を除く

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

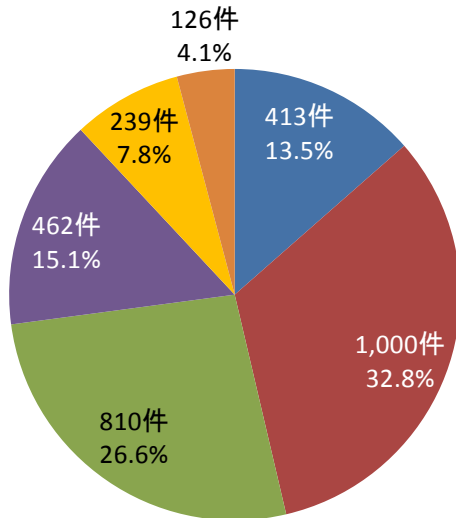
## (4) 調達方式別・予定価格帯別発注件数(平成25年度)

- ・業務の平均的規模は、総合評価落札方式(3,493万円)、プロポーザル方式(2,459万円)、価格競争(1,288万円)の順となった。
- ・価格競争は、1,000万円以下が55.4%となり、規模の小さな業務が過半を占めた。
- ・プロポーザル方式は、1,000～3,000万円の範囲が59.4%を占めた。
- ・総合評価落札方式は、他の方式と比較すると、一部の予定価格帯に偏らず、4,000万円超の業務も27.5%存在する。

調達方式別・予定価格帯別発注件数

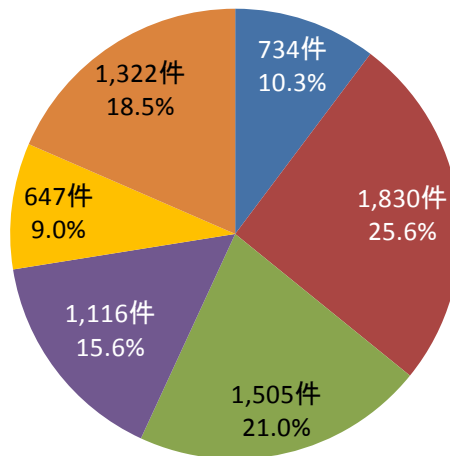
プロポーザル方式

(平均業務規模: 2,459万円)  
(N=3,050)



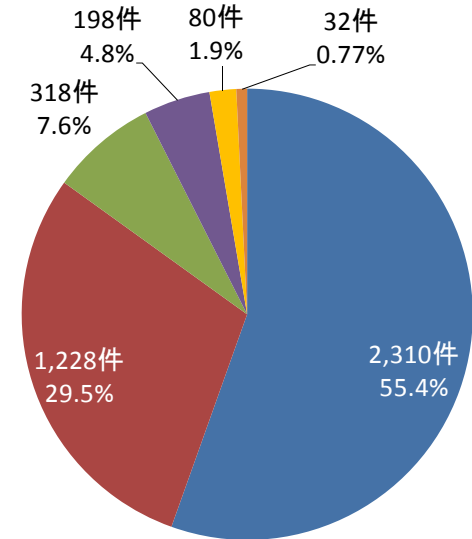
総合評価落札方式

(平均業務規模: 3,493万円)  
(N=7,154)



価格競争

(平均業務規模: 1,288万円)  
(N=4,166)



凡例: ■ 1,000万円以下 ■ 1000万円超～2000万円以下 ■ 2,000万円超～3,000万円以下  
 ■ 3,000万円超～4,000万円以下 ■ 4,000万円超～5,000万円以下 ■ 5,000万円超

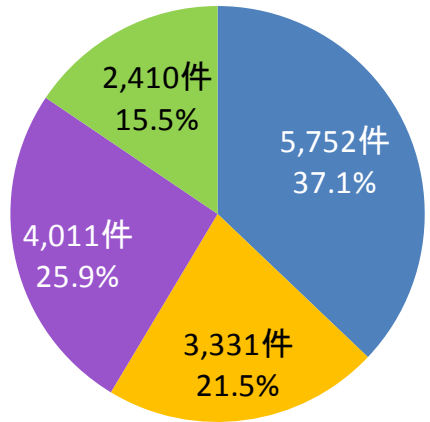
# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (5) 四半期別発注件数割合の推移(全業種計)

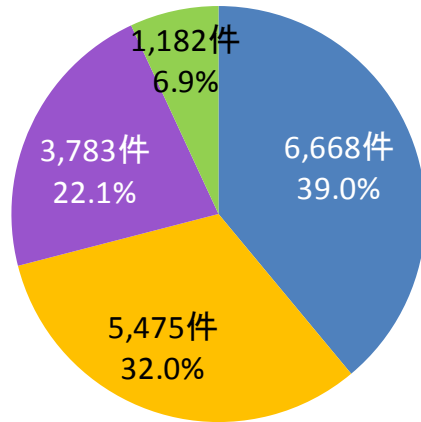
・上半期の契約は、年々増加傾向にあり、平成25年度は全件数の3/4以上を占めた。

四半期別発注件数割合の推移(全業種)

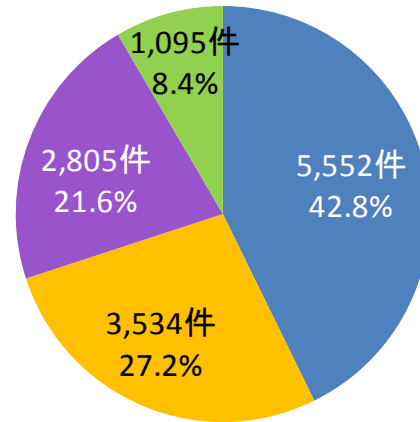
H20年度 (N=15,504)



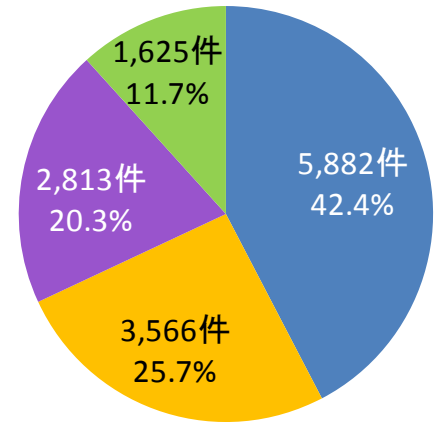
H21年度 (N=17,108)



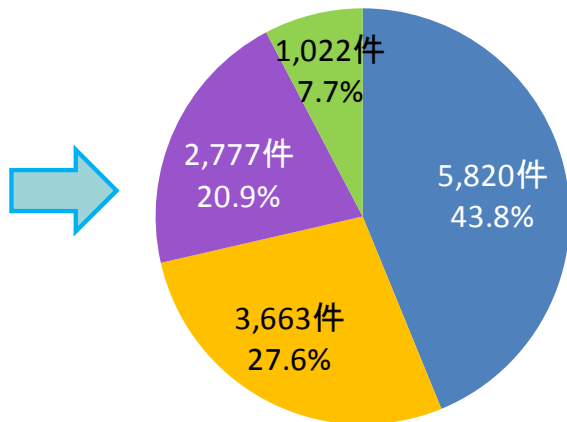
H22年度 (N=12,986)



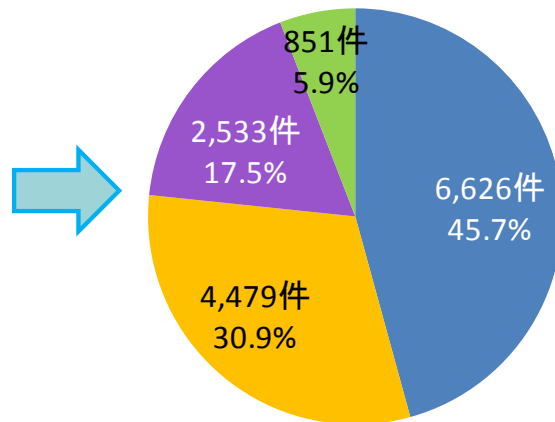
H23年度 (N=13,886)



H24年度 (N=13,282)



H25年度 (N=14,489)



凡例:

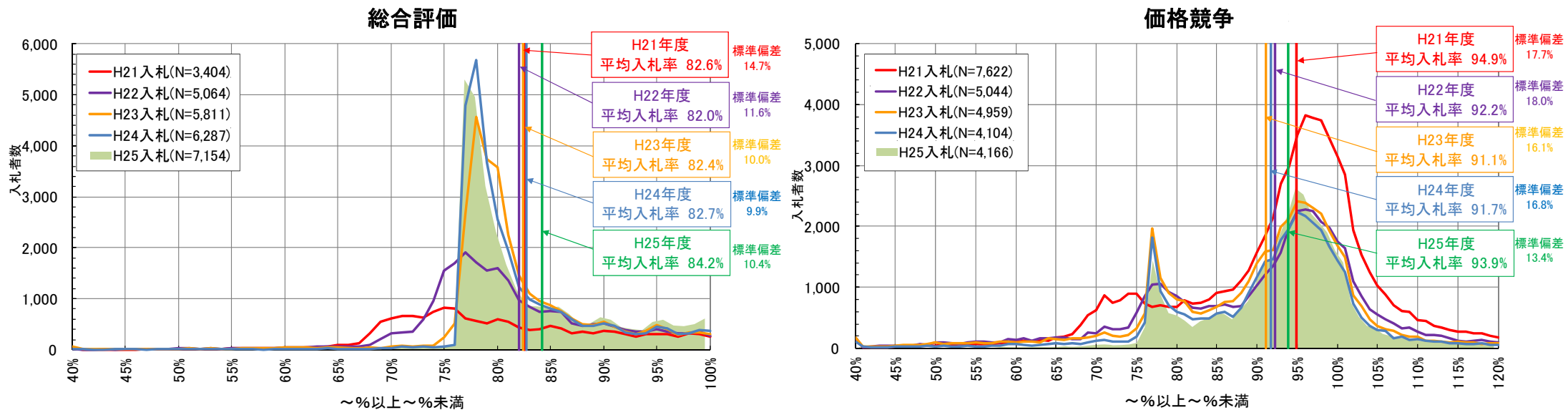
- 第1四半期
- 第2四半期
- 第3四半期
- 第4四半期

## 2. 入札の状況(総合評価と価格競争の比較)

### (1) 入札率分布の推移(全業種)

- ・総合評価落札方式では、履行確実性評価が導入された平成23年度以降に入札率の調査基準価格付近(約75~80%)への集中が顕著になっている。
- ・価格競争では、入札率は調査基準価格付近(約75~80%)と95~100%の間に2つのピークがあり、件数は後者のピークが多い。
- ・総合評価落札方式では、平成25年度の平均入札率は過年度と比較して若干高くなっている。価格競争では、平成25年度の平均入札率は平成24年度より高くなっており、平成21、22年度と同程度となっている。

入札率分布(全業種)



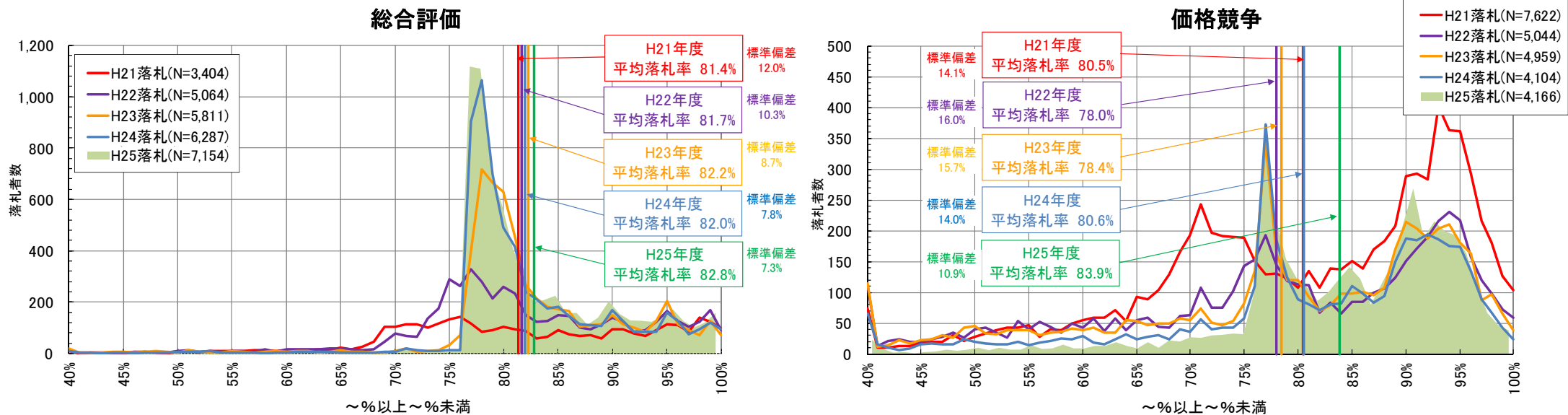


## 2. 入札の状況(総合評価と価格競争の比較)

### (2) 落札率分布の推移(全業種)

- ・総合評価落札方式では、落札率が調査基準価格付近(約75~80%)へ集中し、その傾向が年々著しくなっている。また、平成23年度以降では、75%未満の落札はほとんど存在しない。
- ・価格競争では、落札率は、調査基準価格付近(約75~80%)と90~100%の間の2つのピークがあり、前者のピークは高く、形状が鋭くなっているが、後者のピークの形状は緩やかとなっている。落札率75%未満の落札もかなり多く分布している。
- ・平均落札率をみると、総合評価落札方式では顕著な経年変化が見られないが、価格競争では、平成25年度の平均落札率は平成24年度の平均落札率に比べて約3ポイント高くなった。

落札率分布(全業種)

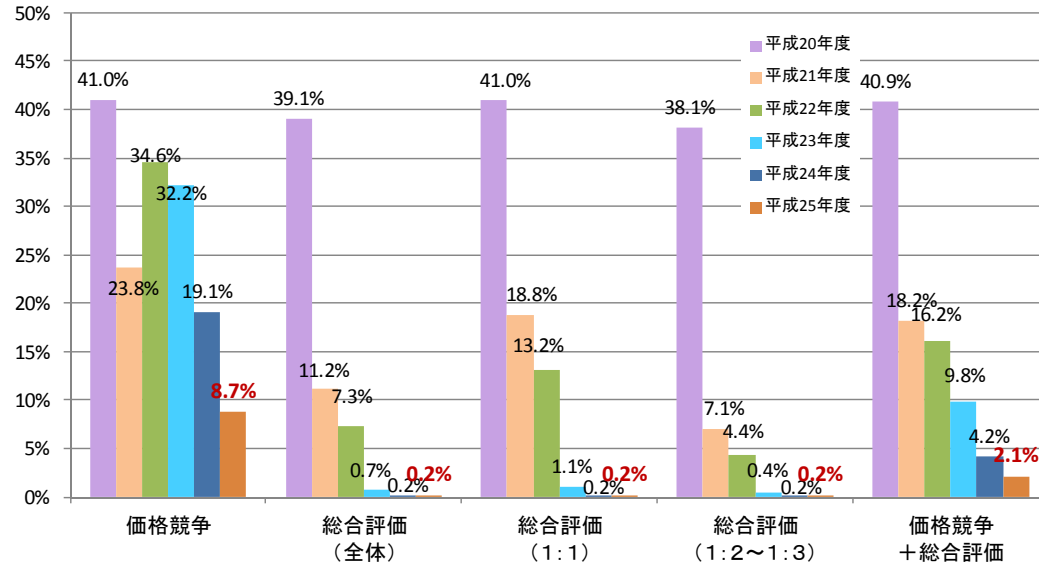


## 2. 入札の状況(総合評価と価格競争の比較)

### (3) 低入落札発生状況(総合評価・価格競争別/業務規模別 経年変化)[予定価格1,000万円超]

- ・予定価格が1,000万円を超える業務では、履行確実性評価の導入拡大により、総合評価落札方式における低入落札はほとんど発生していない(平成25年度の低入落札発生率は0.2%)。
- ・平成25年度の価格競争における低入落札発生率は8.7%と前年に比べて、大幅に減少している。

〈北海道+8地整〉 調達方式別 低入落札発生率(予定価格1,000万円超)



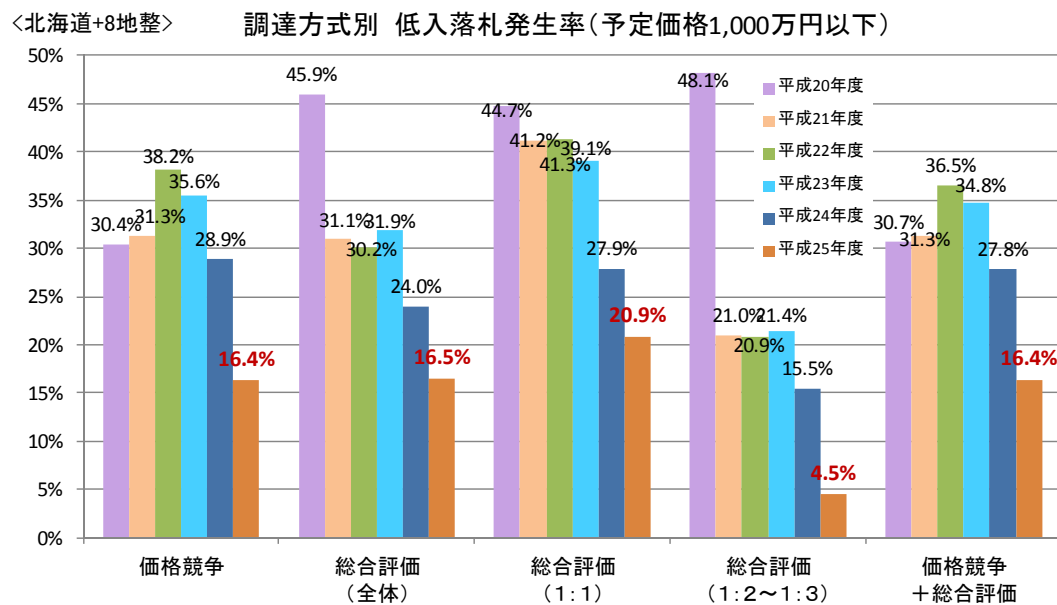
		価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)	価格競争+総合評価
平成20年度	対象業務件数	3,995	307	105	202	4,302
	低入落札件数	1,638	120	43	77	1,758
平成21年度	対象業務件数	3,721	2,930	1,019	1,911	6,651
	低入落札件数	884	327	192	135	1,211
平成22年度	対象業務件数	2,046	4,261	1,425	2,836	6,307
	低入落札件数	707	312	188	124	1,019
平成23年度	対象業務件数	2,061	5,051	2,089	2,962	7,112
	低入落札件数	664	36	23	13	700
平成24年度	対象業務件数	1,459	5,514	2,917	2,597	6,973
	低入落札件数	279	11	7	4	290
平成25年度	対象業務件数	1,854	6,418	3,653	2,765	8,272
	低入落札件数	162	11	6	5	173

※調査基準価格が設定されている業務を対象とする。

## 2. 入札の状況(総合評価と価格競争の比較)

### (4) 低入落札発生状況(総合評価・価格競争別/業務規模別 経年変化)[予定価格1,000万円以下]

- ・ 予定価格1,000万円以下の総合評価及び価格競争の低入落札発生率は、それぞれ16.5%、16.4%であり、前年度に比べて低い値となったが、依然として高率である。
- ・ 総合評価を配点比率別で見ると、1:2~1:3 では4.5%に対し、1:1では20.9%となった。



		価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)	価格競争+総合評価
平成20年度	対象業務件数	3,647	74	47	27	3,721
	低入落札件数	1,107	34	21	13	1,141
平成21年度	対象業務件数	3,479	409	204	205	3,888
	低入落札件数	1,088	127	84	43	1,215
平成22年度	対象業務件数	2,994	799	363	436	3,793
	低入落札件数	1,143	241	150	91	1,384
平成23年度	対象業務件数	2,886	756	448	308	3,642
	低入落札件数	1,026	241	175	66	1,267
平成24年度	対象業務件数	2,641	770	531	239	3,411
	低入落札件数	763	185	148	37	948
平成25年度	対象業務件数	2,249	672	494	178	2,921
	低入落札件数	368	111	103	8	479

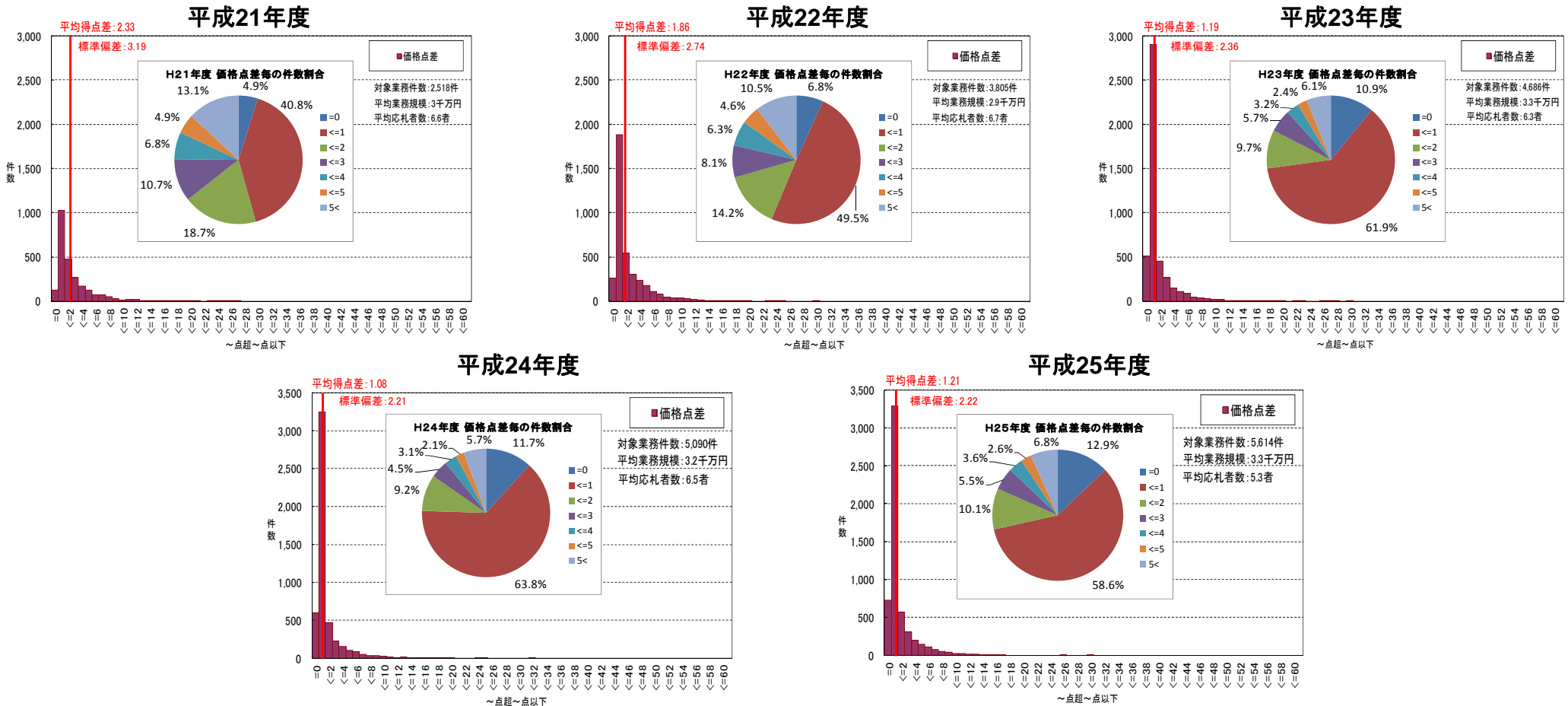
※調査基準価格が設定されている業務では、調査基準価格を下回る業務を、設定されていない業務では落札率75%を下回る業務を低入落札とした。

# 3. 総合評価落札方式の運用実態

## (1) 価格点1位と2位の得点差分布（経年変化）

- ・平成25年度と平成24年度を比較すると、平均業務規模に大きな変化はないが、平均入札者数は1者程度減少している。
- ・平成23年度以降、価格点の平均得点差は1点強の水準で推移している。
- ・価格点1位と2位の差については、「得点差0～1点」にピークがあり、全体に占める割合は、平成24年度までは増加してきたが、平成25年度では58.6%と5.2ポイント減少した。得点差0点（同点）の全体に占める割合は年々増加している。

### 総合評価 価格点1・2位差分布の推移（全業種）



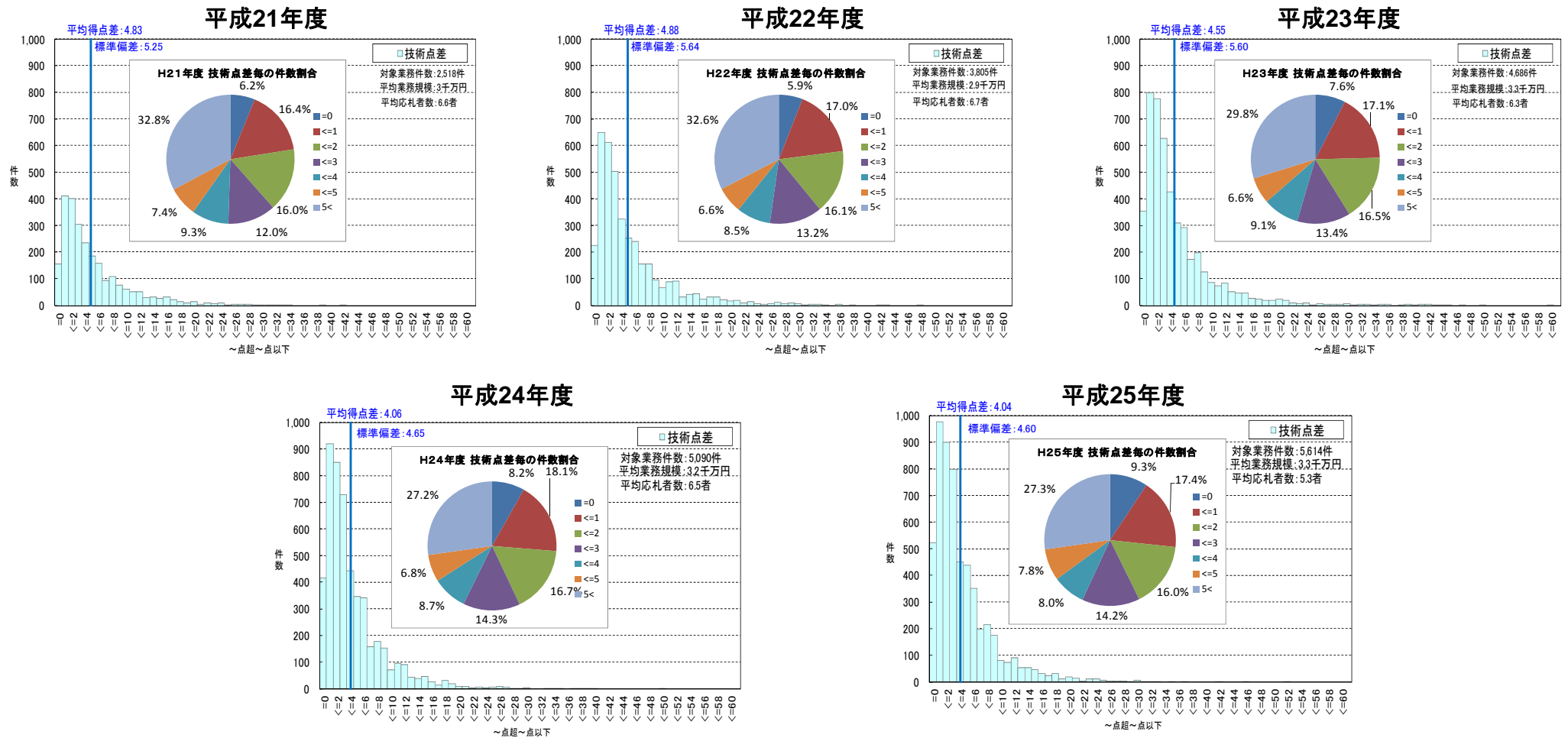
※北海道+8地方整備局の業務を対象。（港湾・空港関係を除く） ※入札価格が予定価格以下の業者が2者以上の業務で分析

# 3. 総合評価落札方式の運用実態

## (2) 技術点1位と2位の得点差分布(経年変化)

- 各年ともに、技術点の平均得点差は4~5点であるが、年々減少傾向にある。
- 1位と2位の得点差のピークは「0~1点(全体の17%程度)」にある。また、ゼロ点差(1位同点)の割合は年々増加しており、平成25年度では9.3%であった。

### 総合評価 技術点1・2位差分布の推移(全業種)



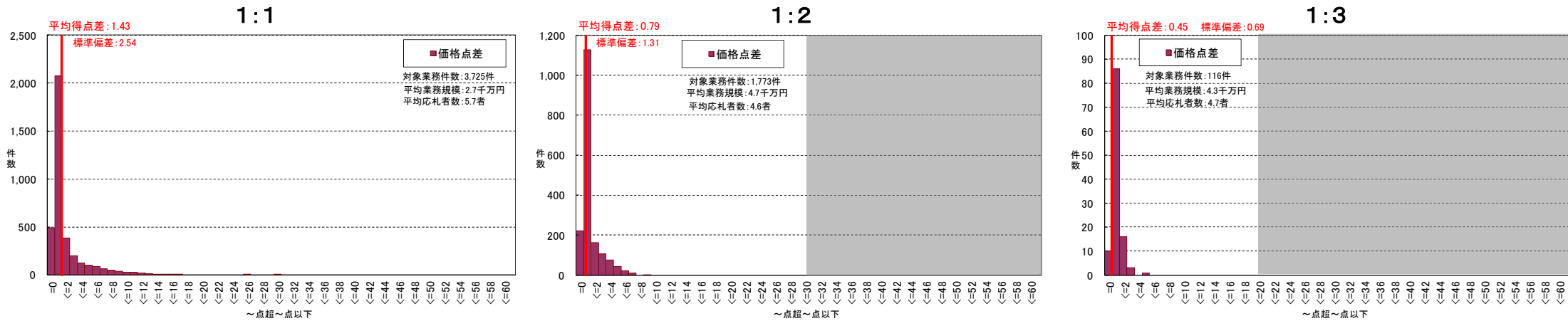
※北海道+8地方整備局の業務を対象。(港湾・空港関係を除く) ※入札価格が予定価格以下の業者が2者以上の業務で分析

# 3. 総合評価落札方式の運用実態

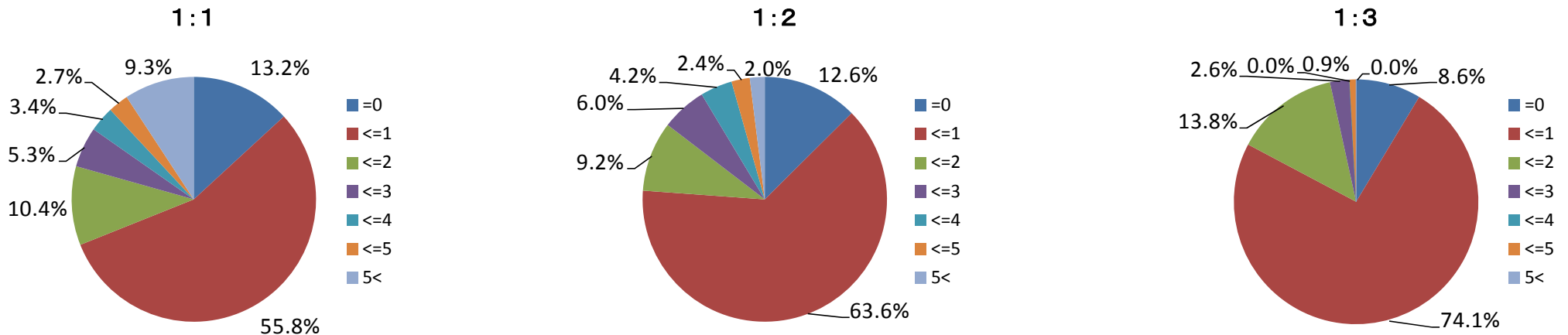
## (3) 価格点1位と2位の得点差分布（配点比率別：平成25年度）

- すべての配点比率で、価格点の1位と2位の点差が「0～1点」にピークがある
- 技術点の比率が高くなるほど、点差が1点差以内の割合が増加し（55.8%→63.6%→74.1%）、価格点の1位と2位の点差が小さくなっている（平均得点差 1.43→0.79→0.45）。

総合評価 配点比率別価格点1・2位差分布（平成25年度：全業種）



総合評価 配点比率別価格点1・2位差件数割合（平成25年度：全業種）



※北海道+8地方整備局の業務を対象。（港湾・空港関係を除く）

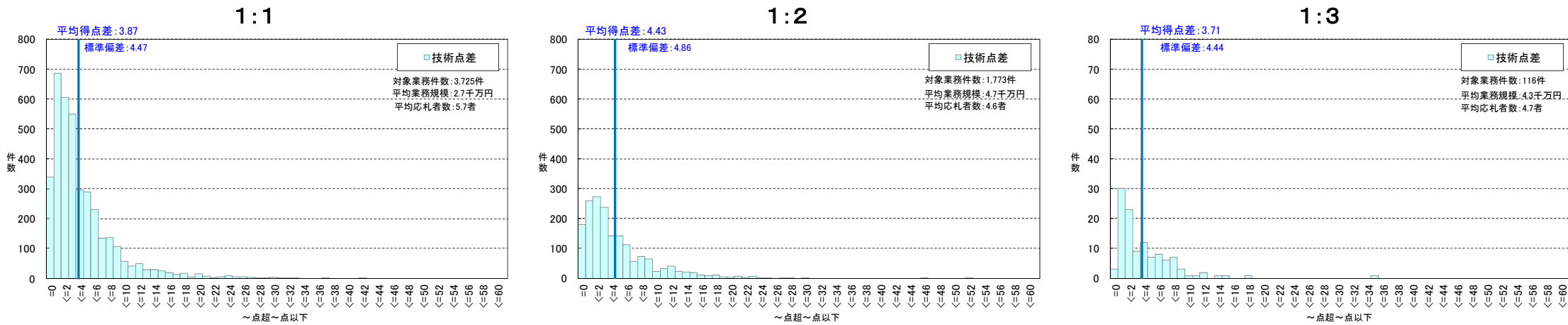
※入札価格が予定価格以下の業者が2者以上の業務で分析

# 3. 総合評価落札方式の運用実態

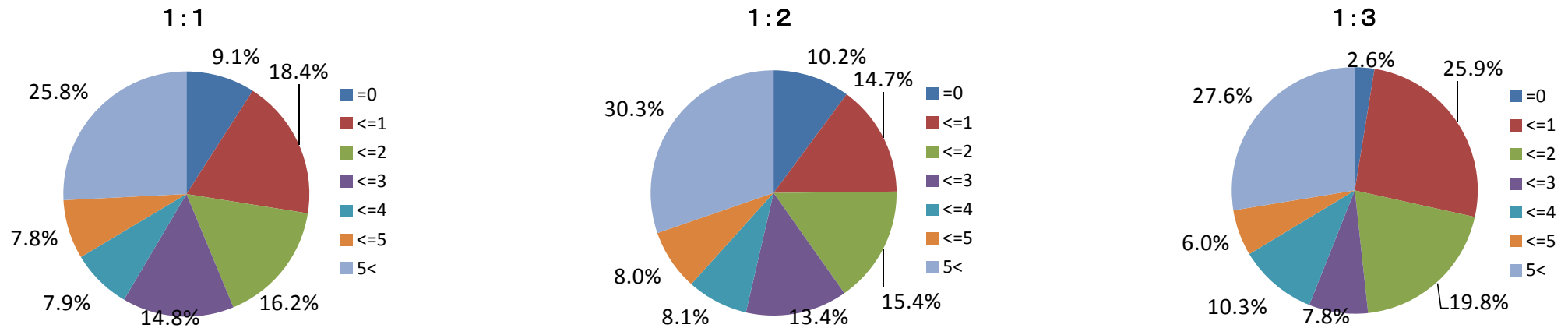
## (4) 技術点1位と2位の得点差分布（配点比率別：平成25年度）

- ・技術点の1位と2位の差の分布は、1:1、1:3は「0~1点」、1:2は「1~2点」にピークがある。
- ・平均得点差は、1:1が3.87点、1:2が4.43点、1:3が3.71点となっている。
- ・ゼロ点差(1位同点)は、1:1は9.1%、1:2は10.2%、1:3は2.6%存在する。

総合評価 配点比率別価格点1・2位差分布(平成25年度:全業種)



総合評価 配点比率別価格点1・2位差件数割合(平成25年度:全業種)



※北海道+8地方整備局の業務を対象。(港湾・空港関係を除く) ※入札価格が予定価格以下の業者が2者以上の業務で分析

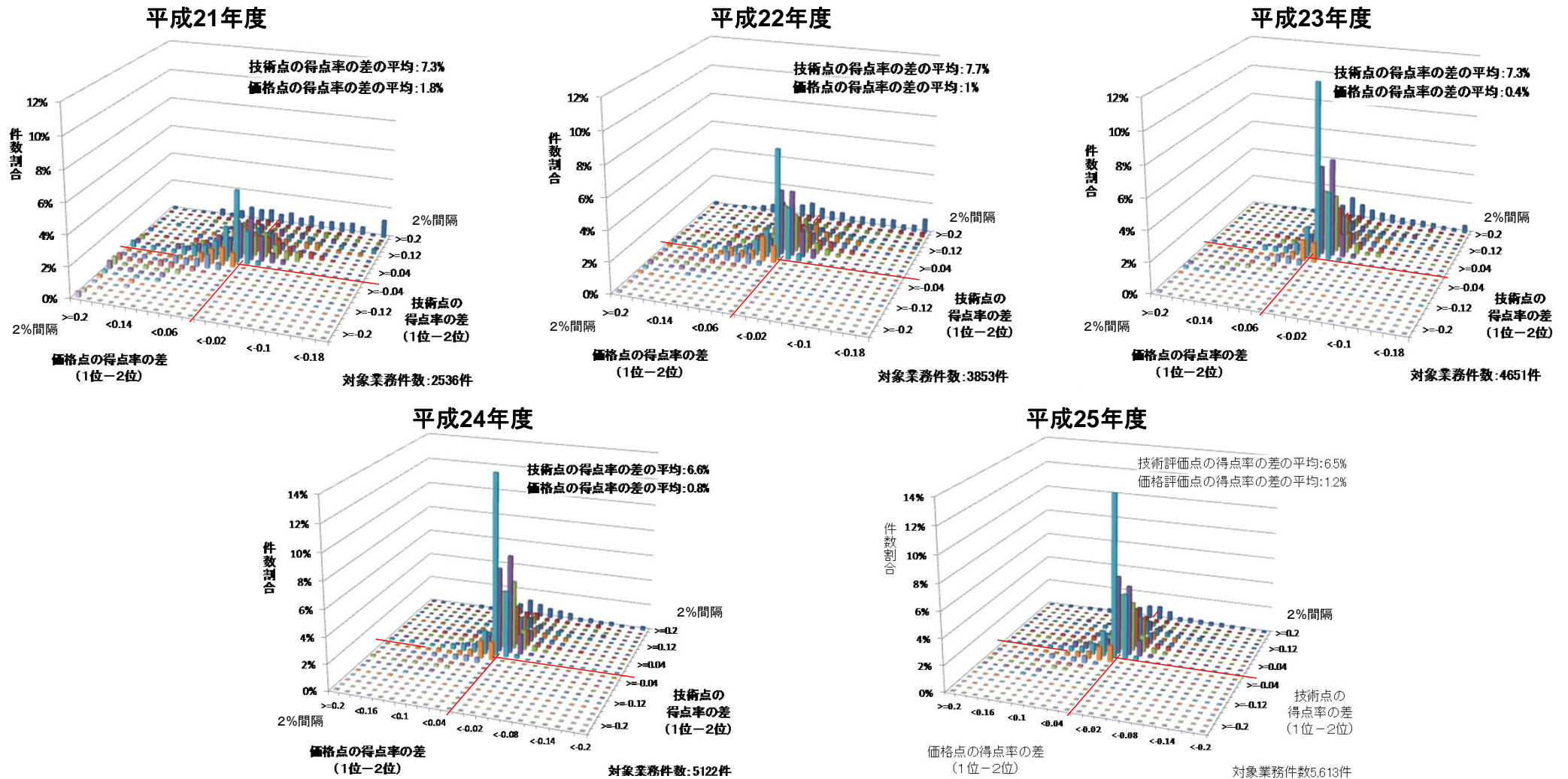


# 総合評価落札方式における落札者の状況

## (5) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「価格点の得点率差」と「技術点の得点率差」の関係(経年変化)

・技術評価値及び価格評価値はともに、落札者の点数が次点者をわずかに上回る箇所に集中する傾向が見受けられる。

落札者と次点者の「価格点得点率差」「技術点得点率差」別件数割合の推移(全業種)



※北海道+8地方整備局の業務を対象。(港湾・空港関係を除く) ※入札価格が予定価格以下の業者が2者以上の業務で分析



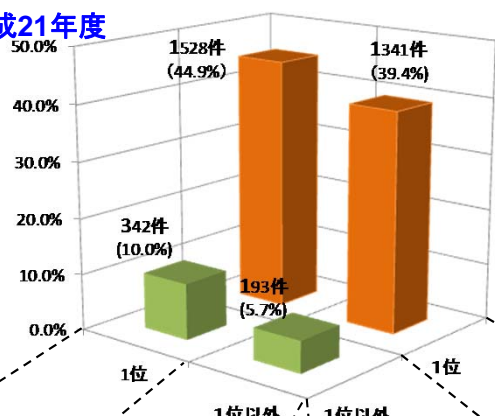
# 3. 総合評価落札方式の運用実態

## (6) 落札者の状況 (順位評価：全体)

- ・価格点1位の者を含め、技術点1位の者が落札した割合は、平成25年度は89.5%であり、平成22年以降横ばいである。
- ・平成25年度の価格点1位以外の者が落札した割合は、平成24年度と比較して減少し、45.5%であった。

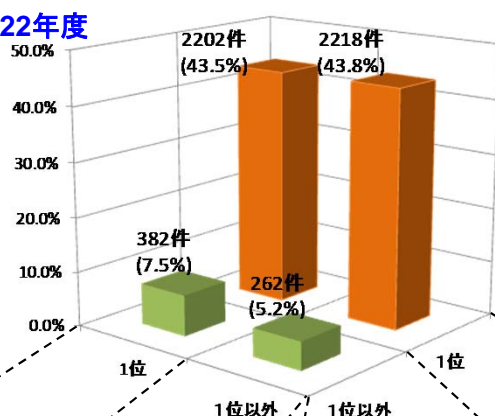
総合評価 落札者内訳の推移(全業種)

平成21年度



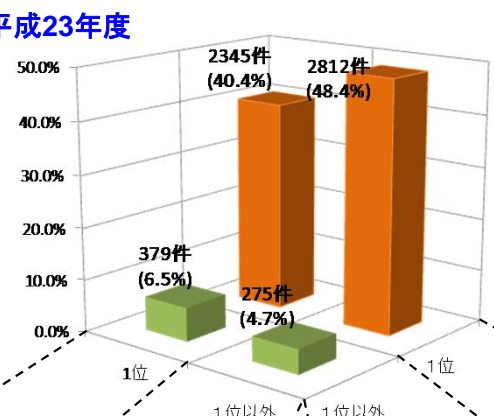
価格点1位	価格点1位以外	技術点1位以外	技術点1位
1,870件 (54.9%)	1,534件 (45.1%)	535件 (15.7%)	2,869件 (84.3%)
合計 3,404件		合計 3,404件	

平成22年度



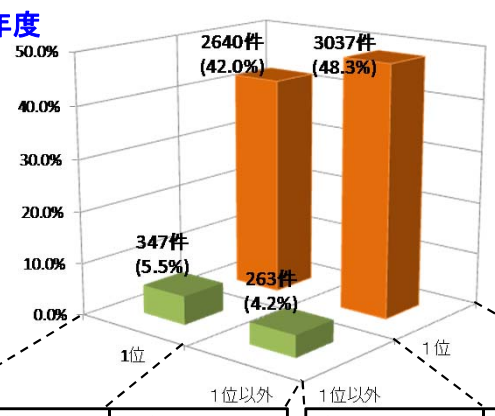
価格点1位	価格点1位以外	技術点1位以外	技術点1位
2,584件 (51.0%)	2,480件 (49.0%)	644件 (12.7%)	4,420件 (87.3%)
合計 5,064件		合計 5,064件	

平成23年度



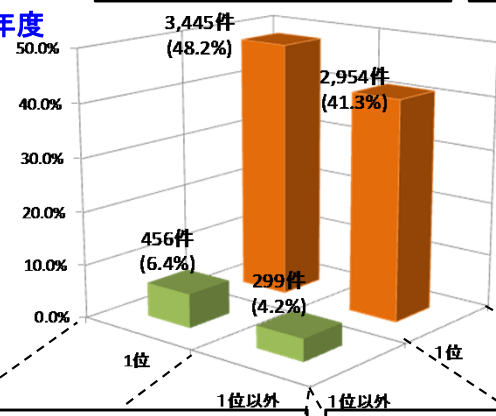
価格点1位	価格点1位以外	技術点1位以外	技術点1位
2,724件 (46.9%)	3,087件 (53.1%)	654件 (11.3%)	5,157件 (88.7%)
合計 5,811件		合計 5,811件	

平成24年度



価格点1位	価格点1位以外	技術点1位以外	技術点1位
2,987件 (47.5%)	3,300件 (52.5%)	610件 (9.7%)	5,677件 (90.3%)
合計 6,287件		合計 6,287件	

平成25年度



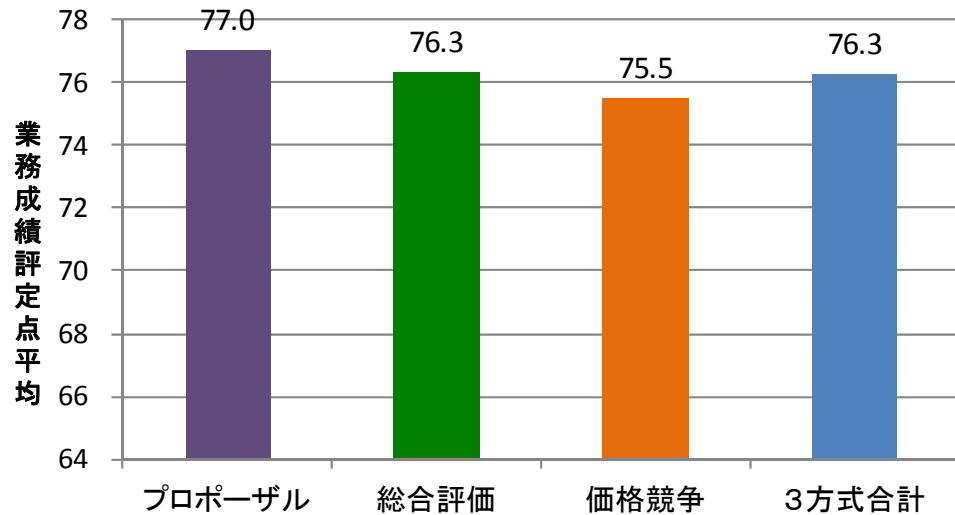
価格点1位	価格点1位以外	技術点1位以外	技術点1位
3,901件 (54.5%)	3,253件 (45.5%)	755件 (10.6%)	6,399件 (89.4%)
合計 7,154件		合計 7,154件	

# 4. 業務成績の関係(平成25年度)

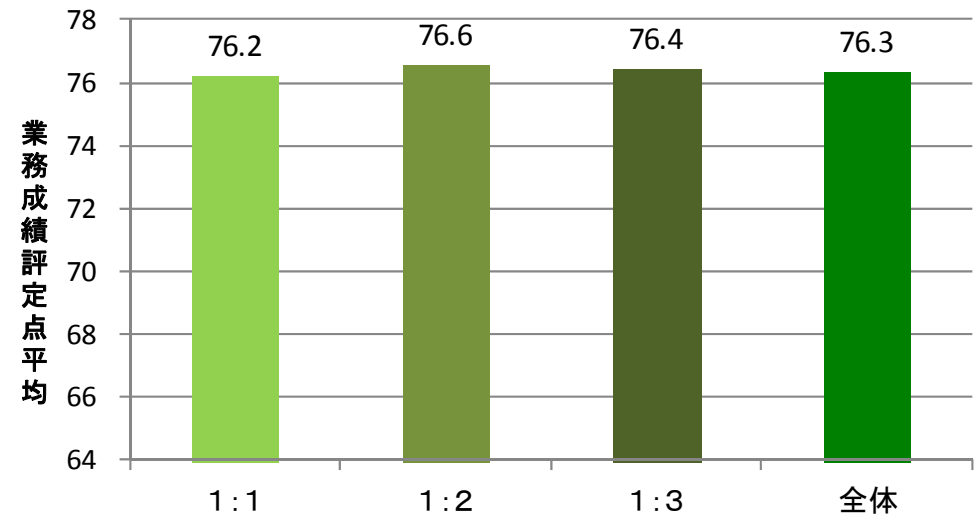
## (1) 調達方式・配点比率と業務成績評定点の関係(全業種)

- ・調達方式別に見ると、プロポーザル方式が最も高く、以下総合評価方式、価格競争の順となっている。その差は価格競争に比して、1.5点(プロポーザル)、0.8点(総合評価)となっている。
- ・総合評価落札方式の配点比率別に見ると、1:2と1:3の業務が1:1の業務に比べて業務成績評定点平均が高い傾向にある。

調達方式別評定点平均(平成25年度)



価格点:技術点比率別評定点平均(平成25年度)



※分析対象は、全業種(土木、測量、地質、建築、補償、発注者支援)で、業務成績評定点のある業務。  
 プロポーザル方式 2,620件、総合評価落札方式(1:1、1:2、1:3) 5,173件(3,261件、1,811件、101件)、価格競争 2,898件、合計10,691件。